

アルミ缶 リサイクル ニュース

January
1
2021

Vol. 154

CAN
to
CAN



アルミ缶リサイクル協会

Japan Aluminum Can Recycling Association

東京都豊島区南大塚1-2-12 日個連会館2階
Tel.03-6228-7764 Fax.03-6228-7769 〒170-0005
<http://www.alumi-can.or.jp>



2021年 年頭所感

2021年理事長新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。
2021年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、さまざまな自粛を求められた1年となりました。皆様並びに周囲の方の中にも感染された方がいらっしゃると思存します。心からお見舞い申し上げます。また集団回収活動におきましても、一時的に活動自粛を余儀なくされたり、徹底した感染防止策を取られたりと大変なご苦勞をされながら取り組まれたことと拝察致します。皆様のお取り組みに深く感謝申し上げます。この感染症につきましては、今後しばらくは予断を許さない状況が続くと思料致しますが、当協会と致しましても、アルミ缶のリサイクル活動に携わる皆様が少しでも安心して作業が出来ますよう、行政等が策定したガイドライン等の皆様への情報発信に努めてまいります。

環境問題に目を向けますと、現在は2019年5月に環境省にて策定されたプラスチック資源循環戦略の具体的な施策の在り方について作成が進められております。これは近年、海洋プラスチック問題が世界的に取り上げられたことに端を発しておりますが、アルミ缶におきましても資源循環の重要性を再認識し、更なる推進を心掛けねばならないと感じております。

さて、昨年のアルミ缶市場は外出自粛や在宅勤務等の影響で自動販売機での売り上げが激減し、その結果、清涼飲料缶の需要が前年よりも1割近く減少しましたが、逆に家庭での飲酒機会が増えてアルコール向け缶の需要が増加し、アルミ缶全体の年間需要はほぼ前年並みで着地したと見込まれます。7年連続で年間200億缶を超える大量のアルミ缶が国内で消費されている

こととなり、引き続きリサイクル活動に注力していくべき環境にあると考えております。

当協会は容器包装八団体で構成する「3R推進団体連絡会」のメンバーですが、2020年までにリデュース率5.5%の達成と、リサイクル率90%以上の維持を目標に活動しております。2019年度実績としては、リサイクル率は90%以上維持を達成できましたが、リデュース率については5.4%と目標にあと一步のところとなり、引き続き関係者への啓発に努めてまいります。

アルミ缶はその優れたリサイクル性を持つ容器として、早くから皆様に認知され、回収活動は容器包装八団体の中では比較的早期に始まり、今や全回収量の半数を集めている集団回収(学校、自治会、老人会、子供会、福祉施設など)、消費者、自治体、事業者のご協力もあり、リサイクル率は安定して90%以上を維持できております。関係各位には改めて深く感謝の意を表しますとともに、長年に亘るアルミ缶回収活動へのご協力に対して、厚く御礼申し上げます。当協会と致しましても、表彰制度や展示会などによりアルミ缶のリサイクル活動の啓発に努めてまいりますので、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。



アルミ缶リサイクル協会
理事長 田代 泰



3R推進団体連絡会 第3次自主行動計画のフォローアップ報告

当協会も含めた容器包装の3Rを推進する八団体が集い、3R推進団体連絡会として活動していますが、5年毎に3R推進に関わる目標値を設定し、毎年末に進捗についての対外報告を行っています。

2020年は、12月10日に経団連会館で記者説明会を開催致しました。

3R推進のうち、リデュース(軽量化)につきましては3団体が2020年度目標を前倒して達成しており、未達の団体も着実に軽量化を推進しています。(アルミ缶も、目標到達にあと一歩の実績でした。)

一方リサイクルにつきましては、アルミ缶を含め4団体が2020年度目標を達成致しました。

また、容器包装3R推進フォーラムや市民・自治体との意見交換会などを通して各主体との相互理解の深化と連携の強化を一段と加速し、展示会への出展などによる普及・啓発活動も行っています。

3R推進団体連絡会は、引き続き第3次自主行動計画に基づき容器包装の3Rを推進するとともに、関係各主体との連携を深めて循環型社会づくりに努めて参ります。

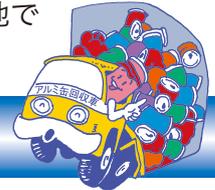


2020年(令和2年)一般回収協力者表彰

全国各地で表彰式

当協会は、アルミ缶の回収活動を行っている団体の中から、優秀な活動実績をあげられた方々を毎年表彰しています。本年度は全国で一般 59 団体、小・中学校 46 校(受賞者の詳細は前号 Vol.153 に掲載)を優秀賞として表彰いたしました。今年はコロナ禍により、協会から現地へ出向いての表彰はありませんでしたが、10月中旬から12月にかけて全国で推薦された拠点様等により、表彰式が開催されました。

同時に本年度優秀回収拠点 2 社、今年から新設されました再選 2 社につきましても現地で表彰を実施しました。



アルミ缶優秀回収拠点表彰

1983年(昭和58年)に「優秀回収拠点表彰制度」を設け、当協会認定の回収拠点様の中から当協会の活動に特にご尽力、ご協力下さった拠点様を表彰しています。本年度は新規表彰としてイワフチ様(佐賀県杵島郡)、山陽環境開発・にいみ清掃様(岡山県新見市)、再選として09年度に受賞した 本田春荘商店様(広島県広島市)と12年度に受賞した 小笠原紙業様(青森県弘前市)が受賞されました。

新規優秀回収拠点受賞



イワフチ 様



山陽環境開発・にいみ清掃 様

再選優秀回収拠点受賞



本田春荘商店 様



小笠原紙業 様



2020年(令和2年度) **「アルミ缶小・中学校回収協力者表彰」表彰風景** (順不同・敬称略)



釧路市立鳥取西小学校



青森市立筒井小学校



青森市立南中学校



東根市立第二中学校



平川市立大坊小学校



平川市立柏木小学校



長井市立平野小学校



郡山市立高倉小学校



桐生市立広沢中学校



小山市立豊田北小学校



富士市立吉原北中学校



浅口市立寄島中学校



浅口市立金光竹小学校



備前市立西鶴山小学校



府中市立上下北小学校



佐伯市立米水津小学校



小中一貫校蒲江湘南学園



鹿屋市立大始良小学校



2020年(令和2年度) **「アルミ缶一般回収協力者表彰」表彰風景** (順不同・敬称略)



北赤坂町会



松元台町会



平田森町会



唐牛育成会



宝沢町内会



社会福祉法人すぎな会



小山市田間子ども育成会



興野北町会



ヘルコリーヌ南大沢5-7-13 団地
管理組合



羽村市社会福祉協議会
いちょう

2020年(令和2年度)「アルミ缶一般回収協力者表彰」表彰風景 (順不同・敬称略 前ページより続く)



南足柄市矢倉沢長命会



壺下地域福祉協議会



山形村エコライフを考える会



ワークホーム・アップル



木曾岬町さくら作業所



松阪市機殿地区自治連合会



鴨方希望の会・鴨方町のぞみの会



赤磐市立いわなし幼稚園



白石町地域婦人連絡協議会



石原婦人会



久保 彰三



板持区シニアクラブ



四箇新町町内会



エコスタディールームOnline2020出展

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年ビッグサイトで開催してきたエコプロが中止となり、これに代わってエコスタディールームという名称でオンライン展示会が開催されました。

今回は、初のオンライン展示会であったため、3R推進団体連絡会が共同で出展し、当協会は「DVD 生まれ変わる資源ゴミ アルミ缶のリサイクル」などを展示致しました。



協会からのお願い

● タブは缶から外さずいっしょにリサイクル

アルミ缶のタブは環境保護のため、缶フタから離れないようにしてあります。タブはタブだけで回収するのではなく、缶に付けた状態で丸ごと回収してください。無理にタブを取るとケガをする場合もあり危険です。

● ボトル缶のキャップの取扱い

飲料用アルミボトル缶のキャップは、アルミ製です。キャップも貴重なアルミ資源です。キャップ・本体とも軽く水洗いした後、中の水分をよく切ったうえ、キャップを軽く締め、回収してください。

● アルミ缶にタバコを入れないでください

アルミ缶にタバコの吸殻を入れると、リサイクルの妨げになるだけでなく、火災の原因になる可能性があります。



編集後記

- 旧年中は色々とお世話になり誠にありがとうございました。本年も宜しくお願い致します。昨年コロナ禍で生活が一変した方もいらっしゃると思います。1日も早くコロナが収まる事を祈念致します。
- 今年こそ皆様が無事に幸せに過ごせる年になるといいのですが…。

アルミ缶リサイクルニュース第154号

発行日 令和3年1月22日

発行人 保谷 敬三

編集人 小林 裕

発行所 アルミ缶リサイクル協会